

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
南種子町	平山地区	令和2年12月3日	—

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	244ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	195ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	88ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	10ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	73ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計 (備考)	38ha

2 対象地区の課題

基盤整備された水田・畑地帯に水稻・葉たばこ・露地野菜を主体とした作目の作付がされているが、今後、農業経営者の高齢化・後継者不足により、農地の耕作放棄地化が懸念される。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

離農や規模縮小する予定の農地を中間管理機構等を通じて借り受け、農地集積に伴う作業効率の向上と農地保全に努める。新たな担い手の育成として、中心経営体が研修受け入れ先となり、次世代の中心経営体の育成を行う。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

現耕作放棄地を解消することは、非常に労力を要する為、新たな耕作放棄地の発生防止に努める。平山地区においては、農地中間管理機構を積極的に活用し、担い手への農地集約を推進を図る。